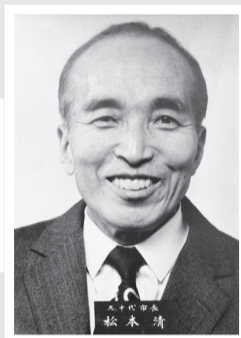
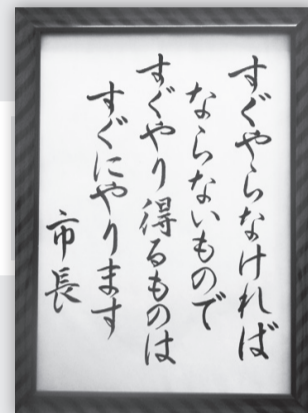


# 市民のサポーターで あり続けます

## 「すぐやる課」発足50周年



すぐやる課の創設者  
第9・10代松戸市長・  
まつもとまさよし  
松本清氏



松本氏直筆の  
「すぐやる精神」  
は、現在もすぐ  
やる課に掲示  
されています

### スズメバチの駆除



「すぐやる課」は、1969(昭和44)年10月6日に誕生し、今年が発足から50年の節目の年となります。当時の松戸市は、高度経済成長の中、首都圏の人口流入の受け皿となり、毎年2万人のペースで人口が増加していました。市は、道路・下水道・学校など、インフラの整備を急ピッチで進めましたが、人口の急増に伴う都市化の波に街づくりがなかなか追いつかない状況が続きました。

こうした中で、「U字溝の破損」「側溝の詰まり」「道路上の動物の死体」など市民の皆さんの身近な問題について、「たらい回しを排除して「迅速な解決を図る」ため、すぐやる課は創設されました。

これからも、市民の皆さんの安全で快適な生活環境の実現に向けて、発足当初からの理念である「すぐやる精神」を忘れずに、身近な困り事の早期解決をお手伝いしていきます。

### 集水ますの泥の除去



### 道路の穴の補修



# あなたの身近にすぐやる課

※すぐやらなければならないものですぐやり得るものはすぐにやります※

## ハチ

### 駆除対象の危険なハチの巣

スズメバチやアシナガバチは、攻撃性が高く、巣に近付いただけで攻撃してくることがあるので、市民からの通報を受けて、すぐやる課が駆除しています。



キロスズメバチ



コガタスズメバチ



アシナガバチ



大型商業施設にも行きます

### 駆除対象ではないハチ

#### クマバチはおとなしいハチ

クマバチは、体も羽音も大きいので危険と思われがちですが、実際には臆病でおとなしいハチです。手でつかんだりしなければ、まず攻撃してくることはないのので、すぐやる課では駆除対象外としています。



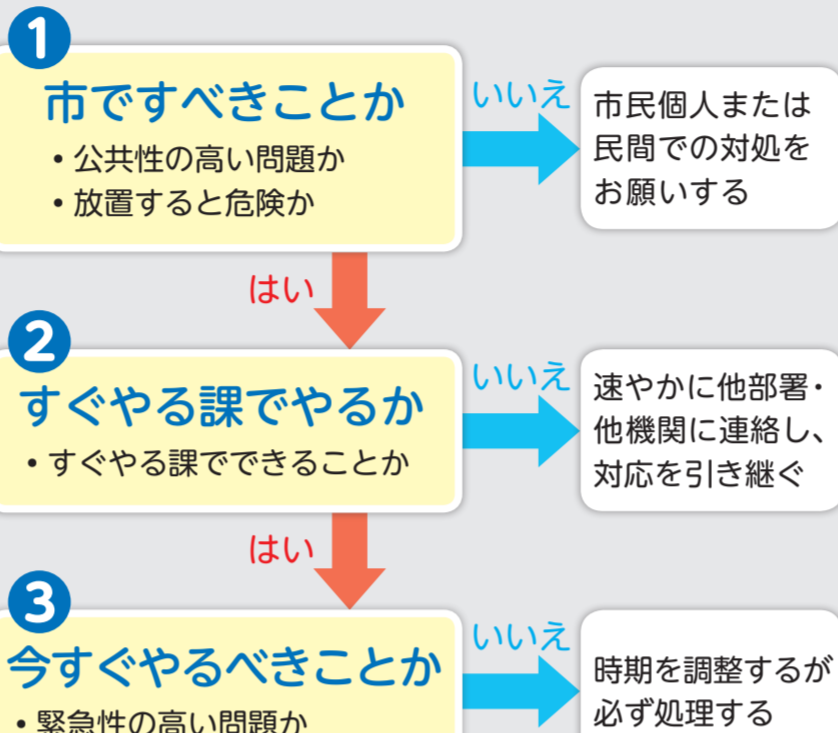
クマバチ

#### ミツバチの分封

女王バチを中心に、樹木や電柱などに大群で群ることがあります。ミツバチが引っ越しをしている時に見られる現象ですが、危険性は低く、数日で引っ越し先を見つけてどこかへ飛んで行ってしまいます。少しの間、様子を見守ってください。



## 市民からの要望は3段階で迅速に判断します



# すぐやる課 出動!

迅速丁寧

市民目線

## すぐやる課 捕物帳



6月20日(木)、道路上にカメが歩いているとの通報を受けて、保護をしました。ペットとして飼育されていたと思われる陸ガメであったため、松戸警察署に拾得物として届けました。



## 不快処理

### 動物の死体

道路上などに放置された動物の死体を回収して処理します。動物の死体を見つけたときは、すぐやる課に連絡してください。

### カラス

カラスは、3月から7月にかけて子育てをします。この間、親鳥はヒナ鳥を守るために、人が近付くと攻撃してきます。すぐやる課では、危険回避のため、4月から7月末までヒナ鳥の保護を行っています。



### ヘビ

ヘビは、怖がられることの多い動物ですが、実際にはとても臆病な生き物です。人間を見かけると、ヘビの方が怖がって逃げていくことがほとんどです。ヘビを踏んでしまったり、捕まえたりしなければ、まず攻撃してくることはありません。もしヘビを見かけたら、少しの間、見守ってください。それでもいなくならず、自宅に居座ってしまった場合には、すぐやる課に連絡してください。

## 小学生や高齢者の見守り



### 小学校通学路パトロール

### 高齢者探索パトロール

保健体育課や高齢者支援課と連携して、小学生や高齢者の見守り活動を行っています。危険な場面や助けが必要なときに、すぐやる課のパトロール車を見かけたら声を掛けてください。

## 土木作業

### 道路補修



パトロール中に発見した道路の穴を応急補修しています。

### 側溝清掃



大雨の日に側溝の水があふれているとの通報を受けて現場に急行。ふたを取り外して、詰まった泥をかき出しています。

### 落とし物拾い(貴重品など)



自宅の鍵を側溝に落としたとの通報を受けて現場に急行し、鍵を拾い上げています。

### 危険なカーブミラー対応



市民からの通報により、カーブミラーにかかった枝を危険と判断。枝を剪定し、ミラーの曇りを拭き取っています。

## すぐやる課50周年記念事業 インターンシップ

7月16日(火)~18日(木)に、50周年記念事業の一環として、県立松戸高校から2人の生徒を受け入れました。すぐやる課の発足から現在に至るまでの歴史を学ぶとともに、現在の業務を体験していただきました。



**職場体験を終えて**  
 朝礼と体操から一日がスタート  
 市民からの通報を受けて、ハチの巣の駆除に出動  
 パトロール中に発見した道路の穴を補修  
 側溝の破損箇所を発見。安全対策としてひとまずパイロンを設置(後日補修しました)  
 帰庁後、一日の作業内容を日報に入力して終了

●高岡樹理さん(写真左)  
 すぐやる課では、市民の皆さんの要望をいち早く解決するために作業車で市内を飛び回ります。土砂降りの雨の中でも市民の要望に応える職員の皆さんは、とてもすごいと感じました。

●上藤菜々子さん(写真右)  
 職員の皆さんが温かく迎えてくださり、楽しみながら業務を学ぶことができました。実際にハチの巣の駆除や道路の補修などを体験してみて、すぐやる課の仕事のやりがいをもっと感じることができました。

# 50年を振り返る

## 歴代課長から一言

### すぐやる課第6代課長・豊田繁一氏



すぐやる課発足50周年おめでとうございます。  
昭和・平成と、「すぐやる精神」を胸に今日まで数々の問題を処理してきたことは、大変感慨深いものがあります。  
平成8年当時に、すぐやる課に女性チームを作った？という意見があった時には、さまざまな意見を集約して、無事女性チーム「ユニ21」をスタートできたことを覚えています。  
令和の新時代も、市民から寄せられる要望に応えながら、すぐやる課がますます活躍することを期待しています。

### すぐやる課第10代課長・大竹忠重氏



発足50周年おめでとうございます。  
半世紀にわたり業務を継続している姿を拝見し、業務に携わった一人として感無量の念があります。  
国内はもとより世界各国からの取材、全国の自治体職員の体験入所、珍動物の大捕物、さまざまなできごとの連続だったことが昨日のように思い起こされます。これからも、「すぐやる精神」を大切に、総合窓口「すぐやる課」として、市民と共にますますの発展を成し遂げられることを祈念します。

## 初代課長夫人へインタビュー

すぐやる課初代課長の故白井銀次郎氏の夫人・白井喜代子氏に、発足当時のすぐやる課を振り返っていただきました（聞き手は、総合政策部部長・石井久雄、現すぐやる課課長・石原稔）。

**石原** 発足当時のすぐやる課は、どのような部署だったのでしょうか。  
**白井氏** 何か困り事があると、何でもすぐに相談に乗ってくれる部署でした。市役所の業務分担は外からは分かりにくいので、市民から見ると融通が利かないように感じる場合があります。実際に、「市役所に行ったけれど、たらい回しをされるばかりで、何一つ解決できずに帰ってきた」との声を聞いたことがありました。  
そうした中で、市民の身近な困り事を聞く部署として、すぐやる課はスタートしました。道路の破損の補修や動物の死体の処理のみならず、時には夫婦喧嘩の仲裁など、ごく個人的な相談まで寄せられたそうですが、どのような内容であっても真摯に対応したと聞いています。  
**石井** 白井課長が、基礎固めをしてくださったからこそ、すぐやる課は現在に至るまで続いたのだと改めて思います。また、当時のすぐやる課は今でいう「ワンストップ窓口」の先駆けであり、時代の最先端を走っていたことが分かります。  
今では、ごく個人的な要望までお受けすることはできませんが、市政の最前線で、率先して市民の皆さんの困り事を聞く部署であることは、当時から

変わっていません。  
**白井氏** 「すぐやる課に相談すれば、どんな困り事であっても、解決はできなくても何らかの助言をもらうことができる」という風潮ができました。これはすぐやる課の活躍があつてのことです。市民と行政の距離が大幅に縮まり、市役所が市民にとって身近なものへと変化していったように感じます。  
**石原** 発足当初からの理念である「すぐやる精神」は、部署を問わず松戸市の職員として皆が受け継いでいくべきものと考え、毎年新規採用職員を対象に、すぐやる課の職員が講師となって研修を実施しています。  
**白井氏** 市民の皆さんは、身近な困り事について親身に相談に乗ってくれる部署が市役所の中にあつてほしいと願っていると思います。これからも、市民と行政の距離を縮める役割を担い、業務に取り組んでくださることを期待しています。



すぐやる課初代課長・白井銀次郎氏



白井喜代子氏



はい、すぐやる課です！

すぐやる課 ☎ 366-7302

身近にある問題でどこに相談してよいか分からないことや、市政についてのご要望をお聞かせください。  
担当部署や関係機関と連携し、問題の早期解決に努めます。市で対応できない場合でも、解決に向けて情報提供やアドバイスを行います。

10月6日はすぐやる課の誕生日です

すぐやる課50周年記念イベント  
松戸まつりにブースを出展します  
10月6日(日)

10時から  
西口デッキブース

- パネル展示（すぐやる課の年表等）
- ハチの相談コーナー（専門家によるアドバイスが受けられます）

13時から  
KITE MITE MATSUDO 広場

- 50周年記念式典
- クイズにチャレンジ
- 市民の皆さんと誕生日をお祝い

広告